

はじめに

平素より地域の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。
医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。
原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。
全数報告：第11週~12週(3/9~3/22) 定点報告：第8週~12週(2/16~3/22)

全数報告疾患情報

医

市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第8週~第12週のグラフを別添しております

2類感染症	11~12週	累計(年)
結核	2	24

5類感染症	11~12週	累計(年)
梅毒	3	6
麻しん	2	5

発生動向トピックス

TOPICS 1

3月24日は「世界結核デー」です！

医 全

毎年3月24日は「世界結核デー (World Tuberculosis Day)」です。これは1882年にコッホ博士が結核菌を発見した日を記念して、世界保健機関 (WHO) が定めた国際的な啓発の日です。結核は、現在も世界で総人口の約25%が感染していると言われる感染症であり、日本国内でも毎年約1万人の患者が報告されています。結核は早期発見・治療が可能な病気ですが、油断すると重症化や集団感染につながることもあります。結核は「過去の病気」ではなく、今も私たちの身近に存在する感染症です。

世界結核デーを機に、結核への正しい知識と理解を深め、地域全体で予防や早期発見・治療に取り組みましょう。



症状

- 2週間以上続く咳や痰
- 微熱や体のだるさ
- 体重減少
- 寝汗
- 胸の痛みや息切れ

※注意※

高齢者の場合、咳や痰といった典型症状が出ないことも多く、診断が遅れることがあります。具合が悪いと思っていなくても定期的な検診が大切です！

結核

感染経路

- 空気感染
結核が進行すると、咳やくしゃみ等によって、空気中に結核菌を含んだ飛沫が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が拡がります

感染対策

咳エチケット



こまめな換気



予防接種(BCGワクチン)



- 定期接種 ■
生後5か月から8か月未満(出生後から1歳未満)に1回接種

免疫力の弱い乳幼児を重症結核から守ります



—市川保健所管内での発生状況について

過去10年間の届出数は、2023年まで減少傾向でしたが、2024年は増加に転じています(図1)。引き続き発生動向に注意が必要です。

日頃の心掛けが結核や呼吸器感染症を防ぎ、自分や周りの人を守ることに繋がります。

【参考】厚労省「結核」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html

【参考】JIHS「結核」

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tuberculosis/index.html>

【参考】厚労省「BCGワクチン」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/bcg/index.html

TOPICS 2

春休みの旅行は感染症に注意しましょう！

医 全

春休みは海外への旅行や留学、帰省などで多くの方が海外に渡航されます。行先によっては、国内ではあまり見られない感染症のリスクがあります。安全な旅行の為に、事前の情報収集と対策を心がけましょう。

海外で注意すべき主な感染症

人から人に感染

麻疹や風しん等があります。咳や発熱、発疹等の症状がある方との濃厚な接触は避けるようにしましょう。また、感染対策の基本である手洗い・手指消毒を心がけましょう。



国内においても麻疹（はしか）の感染事例が報告されています。麻疹は感染力が強く、また空気感染するので、手洗いやマスクのみでは十分な予防とはなりません。最も効果的な予防方法は予防接種です。麻疹の罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない場合は予防接種を御検討ください。

食べ物や水を介して感染

A型肝炎や腸チフス、腸管出血性大腸菌等があります。食事は十分に火が通っているものを食べましょう。また、生肉はもとより、生水・氷・生の魚介類・カットフルーツの飲食は避け、加熱が不十分な卵や乳製品にも注意が必要です。

生肉に注意

海外でも生肉を食べることにより、重篤な食中毒(腸管出血性大腸菌O157等)になるリスクがあります！

旅先で加熱不十分な肉の喫食はやめましょう

蚊やダニを介して感染

マラリア・デング熱・ダニ媒介脳炎・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)等があります。長袖の服等を着用し肌の露出を避け、虫よけスプレーを使用するといった対策をとりましょう。

動物を介して感染

狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスなどがあります。現地の動物は重篤な感染症の原因となる病原体を持っている可能性があります。また、中東諸国へ旅行し、ヒトコブラクダとの接触があった場合は、中東呼吸器症候群(MERS)に御注意ください。現地では、むやみに動物に近づかず、触れないようにしましょう。

計画前

- ◎これまでに受けた予防接種歴を母子手帳等の記録で確認しましょう。
- ◎渡航先で推奨されている予防接種をまだ受けていない場合は早めに医師に相談して受けるようにしましょう。
- ◎渡航先の感染症流行状況を確認しましょう。

渡航後

帰国時

空港や港の検疫所で健康相談ができます。
発熱、咳、発疹、下痢などの症状がある場合や、動物にかまれた、蚊に刺されたなど健康が心配なことがあれば、検疫官に相談しましょう。

帰宅後

感染症には、潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中や帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その場合は、医療機関に事前に電話連絡して海外渡航歴があることを伝えた上で受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴等についてお伝えください。右のチェックリストを参考に御活用ください。

旅行後診察用 医療機関受診時のチェックリスト

旅行先、旅行期間	目的地() 旅行期間 月 日～ 月 日
旅行目的	<input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 借宿 <input type="checkbox"/> 入道入信 <input type="checkbox"/> 友人/親縁の訪問 <input type="checkbox"/> その他()
旅行の形態	<input type="checkbox"/> パッケージー <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> その他()
宿泊先の状況	<input type="checkbox"/> 設備の整ったホテル <input type="checkbox"/> その他()
現在の体調	
<input type="checkbox"/> 発熱がある	<input type="checkbox"/> 上がった下がったり <input type="checkbox"/> ずっと高熱または発熱のまま いつごろからですか() 日 前 月 日 ごろから
<input type="checkbox"/> 下痢がある	<input type="checkbox"/> 水のような <input type="checkbox"/> 粘性状 <input type="checkbox"/> 軟便 <input type="checkbox"/> 血便 <input type="checkbox"/> 1日に10回以上 <input type="checkbox"/> 1日に10回未満 いつごろからですか() 日 前 月 日 ごろから
<input type="checkbox"/> 痒疹がある	いつごろからですか() 日 前 月 日 ごろから
<input type="checkbox"/> 皮膚痛がある	いつごろからですか() 日 前 月 日 ごろから
<input type="checkbox"/> 口白が黄色い	いつごろからですか() 日 前 月 日 ごろから
<input type="checkbox"/> 泌尿器の異常	<input type="checkbox"/> 排尿時に痛い <input type="checkbox"/> 尿道が痛む <input type="checkbox"/> 尿に血が混じっている <input type="checkbox"/> 尿に匂い いつごろからですか() 日 前 月 日 ごろから
<input type="checkbox"/> 皮膚の異常	<input type="checkbox"/> できものがある <input type="checkbox"/> 発疹がある <input type="checkbox"/> 水膨れがある <input type="checkbox"/> 化膿している いつごろからですか() 日 前 月 日 ごろから
<input type="checkbox"/> その他の異常	異常の病名() いつごろからですか() 日 前 月 日 ごろから
旅行中の行動	
現地で水、食料	<input type="checkbox"/> 生水を飲んだ <input type="checkbox"/> 湖や川の水を飲んだ <input type="checkbox"/> 水入りの飲み物を飲んだ <input type="checkbox"/> 加熱していない食物を食べた(野菜・果物を含む) <input type="checkbox"/> 屋台の食品を食べた
虫さされ	<input type="checkbox"/> 蚊に刺された <input type="checkbox"/> ダニに咬まれた <input type="checkbox"/> 他の虫にさされた(いつ())
動物	<input type="checkbox"/> 動物に咬まれた <input type="checkbox"/> 動物の種類() <input type="checkbox"/> 動物に驚かされた <input type="checkbox"/> 動物の種類() <input type="checkbox"/> 動物の尿に近づいた <input type="checkbox"/> 動物の種類()
水あそび	<input type="checkbox"/> 湖や川の中に入った <input type="checkbox"/> 湖や川の中で泳いだ <input type="checkbox"/> 湖や川の水を飲んだ <input type="checkbox"/> 湖や川でボートや舟に乗った <input type="checkbox"/> 特殊な行為()
性行動	<input type="checkbox"/> 不特定多数の性行為があった <input type="checkbox"/> 特殊な行為()
周囲の人	<input type="checkbox"/> 周囲に体調の悪い人がいた <input type="checkbox"/> 発熱の発症()
現地で治療	<input type="checkbox"/> ロマトリア治療 <input type="checkbox"/> 注射の使用品と並ぶ薬品 <input type="checkbox"/> その他()
旅行前の予防接種	
ロ予防接種	<input type="checkbox"/> 黄熱 <input type="checkbox"/> 破傷風 <input type="checkbox"/> 麻しん <input type="checkbox"/> A型肝炎 <input type="checkbox"/> B型肝炎 <input type="checkbox"/> 狂犬病 <input type="checkbox"/> ポリオ
マ予防接種	<input type="checkbox"/> ロ予防接種() <input type="checkbox"/> ロ予防接種()

(※現地で受けた治療や使用した薬品がなければ、その記入を医療機関に行ってください)

(※予防接種記録があったら医療機関に持ってきてください)

- 【参考】厚労省「海外へ渡航される皆様へ」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html
- 【参考】FORTH「海外へ渡航される皆さまへ」
https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html
- 【参考】FORTH「海外での食べ物にご注意ください！」
https://www.forth.go.jp/news/20241101_00001.html

麻しん

医全

千葉県では、2026年第12週に届出はなく、2026年の累計は16例となっています(表1)。

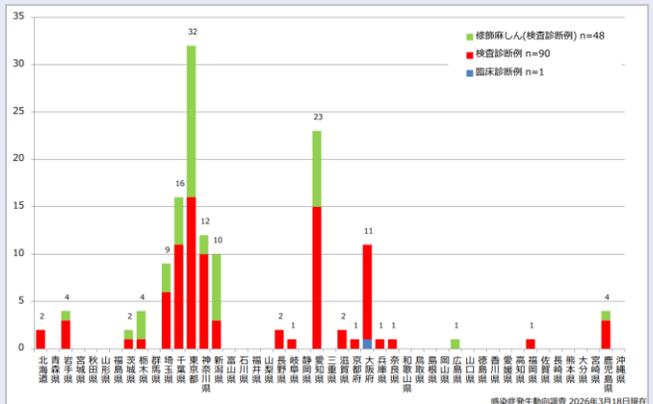
全国では、2026年第11週に東京都で12例、千葉県で8例、神奈川県及び鹿児島県で各3例、大阪府で2例、北海道、茨城県、埼玉県及び長野県で各1例の計32例の届出があり、2026年の累計は139例となりました。

全国で感染事例が報告されています。発疹、発熱などの麻しんのような症状がある場合は、麻しんの疑いがあることを事前にかかりつけ医または医療機関に電話等で伝え、受診の要否や注意点を確認してください。医療機関へ移動される際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用は可能な限り避けてください。

No.	保健所	性別	年齢	病型	発症日	診断日	検査結果		遺伝子型	備考	
							1回目(年)	2回目(年)			
1	市川	女	40代	麻しん(検査診断例)	1月13日	1月21日	4週	不明	不明	B3	連続・滞在先(インドネシア、シンガポール)
2	松戸	男	30代	麻しん(検査診断例)	1月16日	1月26日	5週	無	無	B3	
3	市川	女	40代	麻しん(検査診断例)	1月31日	2月4日	6週	有(不明)	不明	B3	患者との接触有
4	千葉市	男	20代	麻しん(検査診断例)	2月3日	2月9日	7週	有	1 有	7 B3	
5	市川	男	20代	麻しん(検査診断例)	2月5日	2月12日	7週	有	1 有	6 B3	
6	安房	男	20代	麻しん(検査診断例)	2月15日	2月19日	8週	不明	不明	B3	
7	習志野	女	40代	麻しん(検査診断例)	2月20日	2月24日	9週	不明	不明	B3	
8	印旛	男	10代	麻しん(検査診断例)	2月27日	2月28日	9週	有(不明)	有(不明)	B3	
9	安房	男	20代	麻しん(検査診断例)	3月7日	3月10日	11週	無	無	B3	患者との接触有
10	千葉市	男	10代	修飾麻しん(検査診断例)	3月11日	3月12日	11週	有	1 有	5 B3	患者との接触有
11	船橋市	男	10代	修飾麻しん(検査診断例)	3月11日	3月13日	11週	有	1 有	6 検査中	患者との接触有
12	船橋市	男	10代	修飾麻しん(検査診断例)	3月11日	3月13日	11週	有	1 有	5 検査中	患者との接触有
13	船橋市	男	10代	麻しん(検査診断例)	3月11日	3月13日	11週	有	1 有	5 検査中	患者との接触有
14	市川	男	10代	麻しん(検査診断例)	3月10日	3月13日	11週	有(不明)	有(不明)	B3	
15	市川	女	10代	修飾麻しん(検査診断例)	3月11日	3月13日	11週	有	1 有	6 同定不能	患者との接触有
16	船橋市	男	20代	修飾麻しん(検査診断例)	3月13日	3月15日	11週	有	1 有	13 検査中	

表1 2026年千葉県の届出状況

図1:都道府県別病型別麻しん累積報告数



- 【参考】千葉県感染症情報センター「千葉県の麻しん発生状況(2026年第12週)」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202612measles.pdf>
- 【参考】JHIS「麻疹発生動向調査 2026年第11週」
<https://id-info.jhis.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/2026/meas26-11.pdf>

—— 定点医療機関における感染者数の報告は減少傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	2	161	0	0	17

※型非鑑別キット

（医療機関からの型報告なく不明な 17 例を除く）

第12週の千葉県全体の定点当たり報告数は、7.32(人)でした(図1)。市川管内の報告数は、5.18(人)でした(図2)。

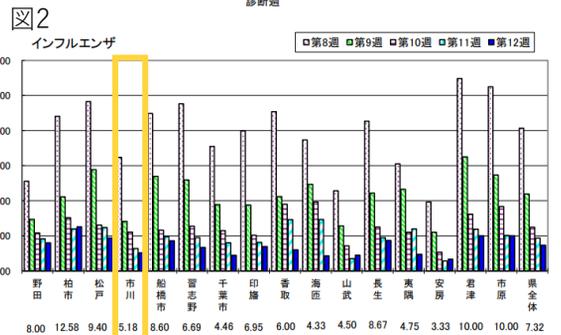
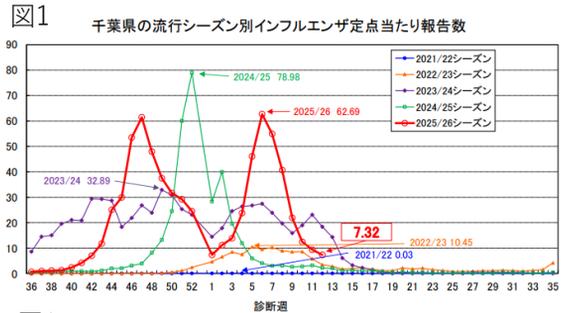
第12週に千葉県内で報告のあった1,225例のうち、A型43例(3.5%)、B型1,159例(94.6%)であり、B型が多い状況です。

インフルエンザ警報が令和8年3月18日をもって解除されました。県全体としてインフルエンザの患者報告数は減少傾向にありますが、まだ流行状況（定点当たり報告数1.0以上）にあり、例年と比較して高い状況が続いております。引き続き、感染対策の実施をお願いいたします。

感染
対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気 ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける ⑥ワクチン接種

2026年第11週から第12週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた表です



【参考】千葉県感染症情報センター
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202612influenza.pdf>
 【参考】厚生労働省「令和7年度急性呼吸器感染症(ARI)総合対策に関するQ&A」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/influenza/QA2025.html
 【参考】千葉県「インフルエンザ警報の解除について」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippe/kansenshou/2026influaertlift.html>

新型コロナウイルス感染症

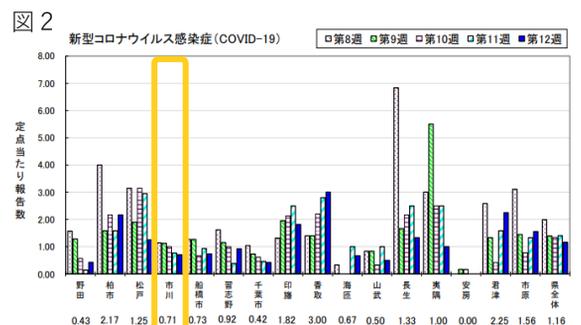
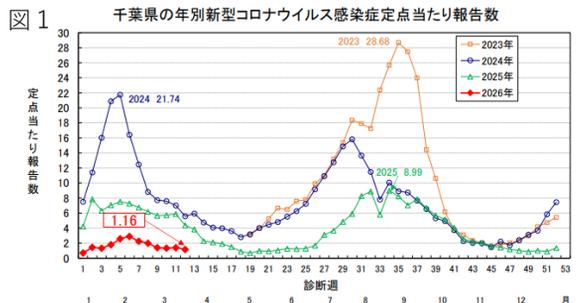
—— 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です

第12週の県全体の定点当たり報告数は、前週の1.40人から減少して、1.16人となりました。地域別では、香取（3.00）、君津（2.25）、柏市（2.17）保健所管内が多い状況です。

市川保健所管内の報告数は、前週から減少し、0.71（人）となっています(図2)

感染
対策

インフルエンザを予防する方法と同様です



【参考】千葉県感染症情報センター
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202612covid19.pdf>
 【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

- ・【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵襲性髄膜炎菌感染症)の発生届を御提出いただく際は、発生届(オンライン・FAX等)の御提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします。なお、閉庁時であっても速やかに保健所へお電話いただきますようお願い申し上げます。
- ・2月1日より疾病対策課の電話番号が変更となりました⇒【047-377-1104】
- ・閉庁日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターに御連絡をお願いいたします。



◀◀感染症法に基づく 医師の届出ハンドブック

https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/pamphlet_A4.pdf

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまで御連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることを御了承ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任において御利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

配信元

千葉県市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp